



梱包研修会を通じて品質高度化（ジャパนมーブ）

# 協力会社の適否判別 エキス

「ジャパนมーブはクーンムーブ（神奈川県横須賀市）の田頭千恵社長は、ここ「いい」。ジャパムーブは、こ「いい」。ジャパムーブは、こ「いい」。ジャパムーブは、こ「いい」。

「社長の仕事はこれほど大変とは」。昨年5月に新任してから日も浅く、慣れない業務に追われる毎日だ

が、いくつかのアイデアを懐に温めている。目玉施策の一つが「女性の特質を前面に打ち出すこと」。外部スタッフを含めた10人程度の女性チームを編成する構想で、「引越しは女性に向いている」との持論を実践に移す。

女性ならではの気配り・目配りを作業に存分に生かし、梱包方法の見直しやごみの排出抑制、作業時間の短縮に努めるほか、ユニホームのデザインを一新する方針。営業戦略は「元請け化」が旗印で、東京営業所（東京都渋谷区）を昨年3

月開設した。成果は着実に上がっているが、「今年には費用対効果の面でも真価が問われる」と気を引き締める。14年9月期の売り上げは前期比2割アップをノルマに課す。

品質高度化も終わらなきてーマだ。「オリジナルのサービスをスタンダードにしたい」。このほか、海外代理店との連携強化、海外

への拠点開設、一般貨物の受託拡大も課題に挙げる。田頭氏は「お客さまに対する気持ちや心はどこにも絶対に負けない。それにもかかわらず、引越しの地位が不当に低いと感じる。もっと社会的なステータスを高めたい」と意欲を燃やす。

「パフォーマンス重視の傾向も出てきた」。斉藤氏の後任を務める海外引越部の大島利幸課長は「必ずしも価格一辺倒ではない」と風向きの変化を感じている。昨年は海外引越事業のパートナー会社を対象に、入札制の採用によるコストと品質の改善を試行。今年

は競争原理を本格的に導入する年と規定し、梱包作業を委託する運送会社などの適否を5、6月ごろをメドに見極める。

大島氏は「引越しは物流や倉庫と並ぶ事業の3本柱に成長した。作業品質はどこにも負けないし、会社の屋台骨を支えている気概もある。1927年に設立された日本最古の引越会社として培ってきたマインドと技術の伝承がこれからの大きな課題」と述べる。

大島氏は「引越しは物流や倉庫と並ぶ事業の3本柱に成長した。作業品質はどこにも負けないし、会社の屋台骨を支えている気概もある。1927年に設立された日本最古の引越会社として培ってきたマインドと技術の伝承がこれからの大きな課題」と述べる。